

静間小だより

～気づき 考え みんなで創り出すⅡ～ 令和7年 9月号

「気づき 考え みんなで創り出す」⑩

2学期の始業式で子どもたちに話したことです。

【気づき 考え みんなで創り出す取組を「本気」でやってみよう。】



2学期は、一番長く、全校で取り組む行事がたくさんあります。9月には運動会、10月には遠足、宿泊体験活動、11月には連合音楽会、学習発表があります。また、各種審査会に向けた作品づくりもあります。「気づき 考え みんなで創り出す」を見える形にするチャンスが多くあるということです。そして、子どもたちに願うことは、一つ一つを「本気」で取り組むことです。これらの活動を素晴らしいものにしていくためには、「本気で気づき、本気で考え、本気でみんなで作る」ことが大切になると思います。そんな校長としての思いを子どもたちに伝えました。

またその際に、昨年度は、相田みつをさんの「本気」の詩を紹介しましたが、今年度は、後藤静香（ごとう せいこう）さんの「本気」という詩を紹介しました。一人一人が「本気で気づき、本気で考え、本気でみんなで作る」ことができれば、そこに「面白さ」や「人とのつながり」が生まれ、「みんなの幸せ」につながっていくと信じています。

みんな偉い	みんな幸福で	本気で働いているものは	人間を幸福にするためにも	だれかが助けてくれる	本気でしている	なんでも面白い	本気ですれば	たいいていの事ができる	本気ですれば	本気
-------	--------	-------------	--------------	------------	---------	---------	--------	-------------	--------	----

9月の「みんなの運動会」に向けて、6年生を中心に取組をはじめています。今の静間小学校最後の「みんなの運動会」になります。52名の子どもたちの「本気」の力と「強い絆」をみなさんには見ていただきたいと思っております。8人という少ない人数の6年生ですので、時に悩み、苦しくなることもあるでしょう。しかし、この取組の過程で、必ず「粘り強さ」や「やりきる力」、「みんなで創り出す力」が高まっていくと信じています。本番までのこの取組こそが、子どもたちにとっては大切な学びです。この取組の中で培われた「粘り強さ」や「やりきる力」、「みんなで創り出す力」が、今後の生きる支えになっていくと信じています。

自分（たち）のペースで、時に休憩しながらも一つ一つのこと「本気」で取り組み、「気づき 考え みんなで創り出す」の実現を今学期もめざしていきます。

夏季職員研修～ハマナス・静間駅について～



8月1日（金）、大田市教育委員会の秋山滋雅さんと静間駅舎運営協議会長の荊尾啓子さん、ご主人の荊尾衛さんをお招きして、「ハマナス保護活動や静間駅の歴史」について職員研修を行いました。

ハマナス発見から愛護活動を行っている現在までの約90年間のストーリーにふれ、静間にとってのハマナスの価値とその愛護に対する地域の方々の思いや願いを改めて実感することができました。いつまでも、この静間の地域にハマナスが育ち、花を咲かせていくためには、どんな環境をつくり、守っていかなければならないのかを個々が考える貴重なきっかけになったと思います。それは、今後のハマナス愛護の取組の活性につながっていくと思います。そして、開業100年を迎える静間駅のお話の中では、石こうと静間駅のつながりの歴史、それにかかわる静間地域の繁栄の様子に気づかせていただきました。昔を知ることが、未来を考えるためには大切です。この日、荊尾さんから聞いた話を継承し、今後の静間を考えていくことは学校のそして地域全体の務めなのかもしれません。また、静間小学校に勤務する者にとって、ハマナスや静間駅に対する造詣を深めていくことは、一つの使命なのかもしれません。この日の我々教職員の学びを、今後の教育活動の中で子どもたちに還元していけるとよいと思っています。



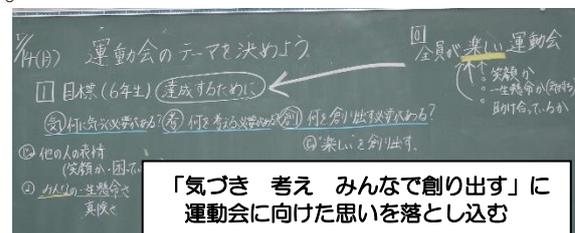
運動会に向けて～自治・協働の心と力を磨こう～



運動会に向けて、6年生は1学期から取組をはじめています。夏休み中も、学校に来て、話し合いと準備を進めてきた6年生です。左は、運動会に向けた学級での基盤づくりの様子です。これからの取組の中で、6年生として「何に気づき」、「何を考え」、それによって「何が創り出されていくのか」について

本気で考えていました。6年生としての取組を、みんなの合言葉に落とし込んでいく学びをしていることがとてもうれしかったです。

これからの一つ一つの取組の中で、新たな「気づき」「考え」が生まれると思います。その都度、合言葉をより深く自分（たち）の中に落とし込みながら、6年生としてのリーダーシップを発揮し、磨いてほしいと願っています。



6年生には、大きな責任があります。特に、8人しかいない6年生であるため、その責任から生まれる重圧は大きくなることが予想されます。しかし、運動会後には、その分大きな達成感や充実感を味わってほしいと願っています。そして、「気づき 考え みんなで創り出す」自治と協働の心と力をいっそう磨いてほしいと願っています。

下級生には、6年生の姿から、「協働する意味」や「集団をまとめ、動かしていく方法」を学んでほしいと願っています。

2学期も、静間小学校教育への

ご理解とご協力をお願いいたします。